



道の駅なみえ 待望のオープン！

## 6月定例会・第2回臨時会(6月)

### 定例会

議案要旨	..... P 2
議案審議	..... P 3 ~ P 5
採決状況(6月定例会・第2回臨時会)	... P 6
一般質問	..... P 7 ~ P 12

委員会のうごき	..... P 13 ~ P 15
委員会活動報告	..... P 16
議会活動報告等	..... P 17
町民の声	..... P 18

一般会計  
補正予算旧ふれあいセンター跡地の  
施設整備に難色！

## 35億730万2千円の増額を否決

補正予算は一般会計ほか3つの特別会計及び水道事業会計を補正するもので、このうち、**一般会計補正予算**は、歳入歳出それぞれ35億730万2千円増額し、これにより予算総額は393億4245万9千円となるものでしたが、反対8賛成7で否決となりました。

## ● 一般会計補正予算歳出の内訳

目的区分	補正額	主な事業等（一部抜粋）
民生費	20億2602万5千円	介護関連施設整備、屋内アスレチック施設整備
衛生費	4957万1千円	上水道料金減免の補助金（コロナ対策）
農林水産業費	8125万5千円	営農再開支援事業補助金
商工費	8208万円	町内再開事業者等光熱費等補助金、新しい事業スタイル支援事業補助金（コロナ対策）
土木費	3065万6千円	下水道料金減免に係る特別会計繰出金（コロナ対策）
消防費	2億9002万4千円	避難所間仕切り等消耗品（コロナ対策）、大堀地区防災コミュニティセンター整備
教育費	9億4769万1千円	図書コーナー等復興まちづくり支援施設整備



左表中、旧ふれあいセンター跡地に整備予定の**介護関連施設、屋内アスレチック施設、復興まちづくり支援施設**に関し、異議が唱えられました。

6月26日に開催した第2回臨時会では、上記を除いた補正予算の議案が上程され、全会一致で可決されました。

## 要旨

6月定例会は、6月9日から18日までの10日間を会期として開催しました。

町長からは、専決処分の承認、条例の制定・改正、契約の締結・変更、補正予算、報告案件など46件の議案が提出されました。また、議会からは8件の議案を提出し、これらについて審議を行いました。

議案の主な質疑内容は3～5ページ、審議結果（採決状況）は6ページに掲載のとおりです。

## 【主な議案等の内容】

- 新型コロナウイルス感染症による被保険者等に対する国民健康保険税の減免に関する条例の制定**については、新型コロナウイルス感染症により被害を受け、担税能力を喪失したと認められる者の令和元年度分及び令和2年度分の国民健康保険税を減免する条例で、減免の対象や割合、申請などを定めるものです。
- 条例改正のうち、**浪江町交流・情報発信拠点の設置及び管理に関する条例の一部改正**は、施設内の会議室や郷土料理研究室、イベント広場等を使用する場合の使用料等の取扱いについて新たに定めるものです。
- 工事請負契約の締結のうち、**地域公共施設既存工作物撤去工事【5115万円】**は、旧ふれあいセンター及び運動公園、旧コスモス保育園の敷地内にある倉庫や遊具等の建物・工作物を撤去するものです。
- 物品購入契約の締結のうち、**消防ポンプ自動車（CD-I型）購入【2024万円】**は、毎分2000ℓの放水機能を有するポンプを取り付けた消防専用車両（排気量4000cc、ディーゼルエンジン四輪駆動3トントラック）を購入するもので、建設予定である大堀地区防災コミュニティセンターに配備されます。
- 工事請負契約の変更のうち、**古堤ため池環境保全整備工事【904万円増額】**と**関ノ倉ため池環境保全整備工事【1億4096万円増額】**は、令和元年の台風19号の影響により、ため池内の放射性物質の分布や堆積の厚さに変化が生じたことに伴う、水底をさらい土砂を取り除く浚渫工事や各種工事に追加変更が生じたため契約金額の変更を行うものです。



# 主な質疑内容を報告します。

(囲み数字は議案番号)

## 専決処分

**〔承2〕** 浪江町地方活力向上地域における固定資産税の課税免除及び不均一課税に関する条例の改正

福島県の認定を受けた町内に本社機能を移転又は拡充する事業者の固定資産税の課税免除等の適用期限を2年延長するため、所要の改正を行うものです。

### 《反対討論》(馬場)

町民と比較した場合、町税は課税強化されており不公平であることを指摘し、反対の討論とします。

(賛成多数で承認)

**〔承3〕** 浪江町国民健康保険税条例の改正

地方税法施行令等が改正されたことに伴い、基礎課税額

(医療給付分)及び介護納付金課税額の保険税課税限度額を引き上げる等、所要の改正を行うものです。

### 《反対討論》(馬場)

現在は減免されていますが、今後通常に戻った場合、課税ベースになること、そして、今後の課税計画を議会に示していないことを指摘し、反対の討論とします。

(賛成多数で承認)

**〔承6〕** 令和元年度一般会計補正予算(第8号)

地方交付税や各事業費が確定したことにより、令和元年度予算の整理等を行ったもので、歳入歳出ともに23億599万円を減額し、総額380億9799万1千円とするものです。

### 質問(紺野榮)

幾世橋分譲地の売買契約から建築までの期間の定めは守られているのか伺います。

**〔まちづくり整備課長〕** 本契約締結日から2年以内に建築に着手しなければならぬ契約となつていますが、避難中という状況もあり、やむを得ない事情がある場合は期間を延長できる規定となっております。

**〔承12〕** 令和2年度一般会計補正予算(第1号)

新型コロナウイルス感染症に緊急に対応するため、特別定額給付金等の経費を予算化したもので、歳入歳出ともに17億4215万7千円を増額し、総額358億3515万7千円とするものです。

### 質問(馬場)

特別定額給付金の①給付対象人数、②マイナンバーでの申請件数、③DV等の世帯分離への対応について伺います。

**〔総務課長〕** ①基準日の住基人数は1万6951人です。②オンライン申請は39件受付しています。③要綱上は住基上の世帯主が受給権者ですが、町では同一世帯であっても、避難住民届等ごとに申請書を送付しており、DV被害を含め世帯分離に対応しています。

(賛成全員で承認)

## 条例改正

**〔承7〕** 浪江町手数料徴収条例の改正

行政手続における特定の個人

人を認識するための番号の利用等に関する法律の一部改正による個人番号通知カードの再交付等の手続が廃止されることに伴い、再交付に係る金額等を条文から削除するものです。

### 質問(馬場)

通知カードの再交付がなくなると、マイナンバーカードを持つていない人に不利益が生じることはないですか。

**〔住民課長〕** 通知カードに記載された氏名、住所等が住民票に記載されている事項と一致していれば、マイナンバーを証明する書類として引き続き使用できます。

5月25日以降変更があった場合、マイナンバーが記載されている住民票の写しで証明可能となります。

(賛成多数で可決)

## 契約の締結

**〔承12〕** いこの村管理棟新築工事 [3億3880万円]

既存の宿泊棟とは渡り廊下でつなぎ、管理棟を建築する

ものです。施設にはフロント、ホール、厨房、レストラン、お土産コーナーや事務室等を整備します。

### 質問(山本)

レストラン96席の規模の根拠を伺います。

**〔佐藤副町長〕** 宿泊定員100人を基本に、従前の規模や宴会等々を考慮した内容を理事会に提示し、承認をいただき、今回の設計に至っています。

(賛成全員で可決)

**〔承15〕** 請戸小学校震災遺構整備工事 [2億9700万円]

被災前後の学校や地域の状況、原子力事故が与えた影響などを伝承していく施設として、残存している校舎の改修に加え、管理棟を建設するものです。

### 質問(高野)

周辺の復興祈念公園や漁港、ロボットテストフィールド等から道の駅で食事・休憩する周遊ルートを提案しましたが、どのような青写真を描いているのか伺います。

**〔町長〕** 震災の教訓を残す教育旅行の一環として、県に提案し、協議をしています。整備には若干時間を要しますが、しっかりと取り組んでいきます。

**質問(松田)** ①管理棟の形、②請戸小学校のDVDや紙芝居の活用について伺います。

**教育次長** ①校舎の景観を損ねないよう建築します。②作成主体と協議をし、さまざまな形でこの事業を実施したいと考えています。

(賛成全員で可決)

## 契約の変更

**87**交流・情報発信拠点スマートコミュニティ施設設備工事【3582万円の増】

道の駅のスマートコミュニティ設備と情報連携するための機器の追加及びソフトウェア更新や純水素燃料電池の保護と寒冷地対策等、設備の追加・変更の工事が必要となり、増額となるものです。

**質問(馬場)** ①増額の内訳、②寒冷地対策は常識と考えますが、欠落した理由について伺います。

**まちづくり整備課長** ①機器連携が約2500万円、太陽熱温水貯湯槽の変更が約600万

円、寒冷地対策が約450万円です。②小規模な水素施設で、寒冷地対策が必要と追加で検討した次第です。

(賛成全員で可決)

## 補正予算

**88**令和2年度一般会計補正予算(第2号)

**質問(佐藤)** 健康関連施設のランニングコストをどう考えているか伺います。

**教育次長** 図書館・公民館機能を備えた復興まちづくり支援施設は、条例にのっとり使用料徴収を図ります。キッズパークは、今後、運営や体制など具体的なことを検討していきます。

**介護福祉課長** 介護関連施設の通所介護事業所は、町民の帰還状況やサービスの利用状況を見ながら、規模に合わせた人員配置をし、経費削減に努めています。

**質問(平本)** 屋内アスレチック施設の工事費約7億8000万円は、他の同規模程度の

建物工事と比較すると、かなり高額ですが、その理由を伺います。

**教育次長** 計画地が軟弱地盤であり、杭等の対策費用で高額となるものです。

**質問(山崎)** ①小学校費のGIGAスクール教材費、②中学校費に計上されていない理由について伺います。

**教育次長** ①iPad27台分、モバイルルーター、会議用カメラ、スピーカー、マイク等を購入入予定です。②創成小中学校は1つの校舎で運営しており共通で使用しますが、経費として分けることができないため、小学校費に一括計上しています。

**質問(山本)** ①屋内アスレチック施設の遊具にボルダリングを選んだ理由、②介護関連施設の計画にあたり、高齢者や関係機関との協議を行ったのかについて伺います。

**教育次長** ①子どもを中心として競技人口の増加が見込まれるものと考えています。

**介護福祉課長** ②健康関連施設整備検討委員会の提言を受け、浪江町介護保険事業運営委員会において協議しています。また、

現場の生の声を聴くため、先進地視察を行い、運営の状況や問題点を確認し、今回の設計にも生かしています。

**質問(高野)** ①公共埋蔵文化財発掘調査委託料の対象場所及び面積、②遺物の保管場所の新たな建築の考えについて伺います。

**教育次長** ①幾世橋小学校校庭の3000平米を予定していますが、活用が決定されれば必要部分のみの調査になります。②現在は浪江高校に仮置きしています。復興事業の増加により、保管施設を検討する調査事業を予定しています。

**質問(馬場)** ①コロナ対策の地方創生臨時交付金約1億500万円の交付基準、②町で行う11事業2億6700万円と交付額との差額の財源について伺います。

**企画財政課長** ①人口及び財政力、感染状況等に基づき算定されています。②現時点では町の単独費を考えています。

**《反対討論》(山本)**  
地域交流センター、介護関連施設、屋内アスレチック施設に

ついでに資料や説明が不足しており、賛成できません。再度、十二分な説明を求めます。

**《賛成討論》(渡邊)**

新型コロナウイルス感染症対策をはじめ、町民から要望が高い介護関連施設や屋内アスレチック施設、復興まちづくり支援施設を整備する予算も含まれ、将来の浪江町に必要な措置であり、賛成の態度を表明します。  
(賛成少数で否決)

## 請願

**請**福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出請願書

審査は産業・建設常任委員会に付託し、全会一致で採択となり、意見書を可決後、関係機関に提出しました。

**意見書の提出先**  
内閣総理大臣・厚生労働大臣・福島労働局長

**意見書の内容**  
政府が掲げる「全国加重平均



1000円を目指す」との方針を踏まえ、最低賃金の引き上げを行う環境を整備することを求めるもの。

## 陳情

〔陳〕「国の『被災児童生徒就学支援等事業』の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書」の提出を求める陳情書

審査は文教・厚生常任委員会に付託し、全会一致で採択となり、意見書を可決後、関係機関に提出しました。

○意見書の提出先  
復興大臣・文部科学大臣・総務大臣・財務大臣

○意見書の内容  
東日本大震災によって経済的に困窮している子どもたちの就学・修学を保障するため、令和3年度も、全額国庫で支援する当該事業の継続と、十分な就学支援に必要な予算確保を求めるもの。

〔陳〕日本政府に核兵器禁止条約の調印・批准を求める意見書提出に関する陳情書

審査は総務常任委員会に付託し、全会一致で採択となり、意見書を可決後、関係機関に提出しました。

○意見書の提出先  
内閣総理大臣・外務大臣

○意見書の内容  
唯一の被爆国として核兵器禁止条約に調印批准するとともに、核兵器のない世界に向けて国際的な役割を果たしていくことを求めるもの。

## 意見書

トリチウム水の処分方法が新たな風評被害を生まないよう対策強化を求める意見書  
全会一致で可決し、意見書を関係機関に提出しました。

○意見書の提出先  
内閣総理大臣・経済産業大臣・復興大臣・衆議院議長・参議院議長・原子力規制委員会委員長

○意見書の内容

東京電力福島第一原子力発電所敷地内の貯蔵タンクに保管されている放射性物質トリチウムを含んだ処理水の処分方法について、地域の意見を十分に取り入れ、幅広い関係者からの意見を聴取するとともに、新たな風評を助長しないよう風評対策の拡充・強化を求めるもの。

帰還困難区域特定復興再生拠点「区域外」の早期除染と整備を求める意見書  
全会一致で可決し、意見書を関係機関に提出しました。

○意見書の提出先  
内閣総理大臣・経済産業大臣・環境大臣・復興大臣

○意見書の内容  
帰還困難区域の地域住民に新たな混乱と分断をもたらす「除染なし避難指示解除」という国の方針を撤回し、「国の責任で早期に除染し、地域住民が安心して住めるようにする」ことを求めるもの。

## 6月定例会 浪江町議会の 新型コロナウイルス 感染症防止対策 (主なもの)



●座席の工夫  
議員席・執行部席・傍聴人席は1席おきに配置。  
隣り合う議長と議会事務局長席の間にアクリル板を設置。

●自席での一般質問  
通常、質問席で行う一般質問を、自席に変更。

●換気の徹底  
通常は締め切った議場で議会を行うが、3か所の出入口及び排煙窓を開放。



●消毒やマスク着用の注意喚起  
3か所の出入口には、消毒液とマスクを常備。



※引き続き、動向を見ながら、対策を講じ、安心・安全な議会運営に努めていきます。

## 6月定例会の採決状況 (6月17日・18日採決)

議案番号	議案	議決結果	議決結果																関連ページ	
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16		
			○：賛成 ●：反対 欠：欠席 退：退席 全賛…全員賛成で可決・認定・採択等 賛多…賛成多数で可決・認定・採択等 賛少…賛成少数で否決・不認定・不採択等	議案番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
				大浦	石井	高野	佐々木	半谷	紺野	佐々木	平本	山崎	渡邊	松田	山本	泉田	紺野	佐藤	馬場	
				泰夫	悠子	武	恵寿	正夫	則夫	勇治	佳司	博文	泰彦	孝司	重章	榮重	文字	文子	績	
				議決結果																
	承認第6号訂正の件			—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
承認第1号	専決処分の承認を求めることについて(浪江町税条例等の一部改正について)	全賛		○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
承認第2号	専決処分の承認を求めることについて(浪江町地方活力向上地域における固定資産税の課税免除及び不均一課税に関する条例の一部改正について)	賛多		○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	
承認第3号	専決処分の承認を求めることについて(浪江町国民健康保険条例の一部改正について)	賛多		○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	
承認第4号	専決処分の承認を求めることについて(浪江町国民健康保険条例の一部改正について)	賛多		○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	
承認第5号	専決処分の承認を求めることについて(浪江町後期高齢者医療に関する条例の一部改正について)	全賛		○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
承認第6号	専決処分の承認を求めることについて(令和元年度浪江町一般会計補正予算(第8号))	全賛		○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
承認第7号	専決処分の承認を求めることについて(令和元年度浪江町文化及びスポーツ振興育成事業特別会計補正予算(第1号))	全賛		○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
承認第8号	専決処分の承認を求めることについて(令和元年度浪江町国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号))	全賛		○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
承認第9号	専決処分の承認を求めることについて(令和元年度浪江町公共下水道事業特別会計補正予算(第5号))	全賛		○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
承認第10号	専決処分の承認を求めることについて(令和元年度浪江町農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号))	全賛		○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
承認第11号	専決処分の承認を求めることについて(令和元年度浪江町介護保険事業特別会計補正予算(第5号))	全賛		○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
承認第12号	専決処分の承認を求めることについて(令和2年度浪江町一般会計補正予算(第1号))	全賛		○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
承認第13号	専決処分の承認を求めることについて(令和2年度浪江町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号))	全賛		○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
議案第65号	新型コロナウイルス感染症による被保険者等に対する国民健康保険税の減免に関する条例の制定について	全賛		○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第66号	浪江町税条例の一部改正について	全賛		○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
議案第67号	浪江町手数料徴収条例の一部改正について	賛多		○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	
議案第68号	浪江町介護保険条例の一部改正について	全賛		○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
議案第69号	浪江町交流・情報発信拠点施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について	全賛		○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第70号	工事請負契約の締結について(春野野ため池環境保全整備工事)	全賛		○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
議案第71号	工事請負契約の締結について(沢目ため池環境保全整備工事)	全賛		○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
議案第72号	工事請負契約の締結について(いこいの村管理棟新築工事)	全賛		○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第73号	工事請負契約の締結について(台風19号道路災害復旧工事(1))	全賛		○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
議案第74号	工事請負契約の締結について(地域公共施設既存工作物撤去工事)	全賛		○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第75号	工事請負契約の締結について(戸小学校震災遺構整備工事)	全賛		○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第76号	物品購入契約の締結について(消防ポンプ自動車(CD-I型)購入)	全賛		○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第77号	物品購入契約の締結について(浪江町役場電気自動車(公用車)購入 その2)	全賛		○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第78号	工事請負契約の変更について(古堤ため池環境保全整備工事)	全賛		○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第79号	工事請負契約の変更について(目倉ため池環境保全整備工事)	全賛		○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第80号	工事請負契約の変更について(関ノ倉ため池環境保全整備工事)	全賛		○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第81号	工事請負契約の変更について(丈六ため池環境保全整備工事)	全賛		○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第82号	工事請負契約の変更について(南迫ため池環境保全整備工事)	全賛		○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第83号	工事請負契約の変更について(小和田ため池環境保全整備工事)	全賛		○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第84号	工事請負契約の変更について(浪江町交流・情報発信拠点施設外構工事)	全賛		○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第85号	工事請負契約の変更について(町道小熊田宮田線道路改築工事)	全賛		○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第86号	工事請負契約の変更について(町道請戸漁港小高瀬迫線道路改築工事(1工区①))	全賛		○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第87号	工事請負契約の変更について(交流・情報発信拠点スマートコミュニティ施設設備工事)	全賛		○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第88号	令和2年度浪江町一般会計補正予算(第2号)	賛少		○	○	●	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第89号	令和2年度浪江町国民健康保険直営診療施設事業特別会計補正予算(第1号)	全賛		○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第90号	令和2年度浪江町公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	全賛		○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第91号	令和2年度浪江町農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	全賛		○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第92号	令和2年度浪江町水道事業会計補正予算(第1号)	全賛		○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
報告第1号	令和元年度浪江町一般会計継続費繰越計算書について	—		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
報告第2号	令和元年度浪江町一般会計繰越明許費繰越計算書について	—		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
報告第3号	令和元年度浪江町公共下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書について	—		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
報告第4号	令和元年度浪江町水道事業会計予算繰越計算書について	—		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	請願・陳情審査報告	全賛		○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
請願第1号	福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出請願書	全賛		○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
陳情第1号	「国の『被災児童生徒就学支援等事業』の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書」の提出を求める陳情書	全賛		○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
陳情第2号	日本政府に核兵器禁止条約の調印・批准を求める意見書提出に関する陳情書	全賛		○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
発議第2号	福島県最低賃金の引上げと早期発効を求める意見書(案)	全賛		○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
発議第3号	「被災児童生徒就学支援等事業」の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書(案)	全賛		○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
発議第4号	日本政府に核兵器禁止条約への署名・批准を求める意見書(案)	賛多		○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	
発議第5号	トリチウム水の処分方法が新たな風評被害を生まないように対策強化を求める意見書(案)	全賛		○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
発議第6号	帰還困難区域特定復興再生拠点「区域外」の早期除染と整備を求める意見書(案)	全賛		○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	委員会の閉会中の継続審査又は調査の申し出について	全賛		○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

## 令和2年第2回臨時会の採決状況 (6月26日採決)

議案番号	議案	議決結果	議決結果																関連ページ	
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16		
			○：賛成 ●：反対 欠：欠席 退：退席 全賛…全員賛成で可決・認定・採択等 賛多…賛成多数で可決・認定・採択等 賛少…賛成少数で否決・不認定・不採択等	議案番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
				大浦	石井	高野	佐々木	半谷	紺野	佐々木	平本	山崎	渡邊	松田	山本	泉田	紺野	佐藤	馬場	
				泰夫	悠子	武	恵寿	正夫	則夫	勇治	佳司	博文	泰彦	孝司	重章	榮重	文字	文子	績	
				議決結果																
議案第93号	令和2年度浪江町一般会計補正予算(第2号)	全賛		○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	



※佐々木恵寿議長は地方自治法第116条第2項の規定により議決に加わるできません。  
 ※事件の訂正・報告議案は採決を行いません。  
 ※定例会・臨時会の会議結果は町ホームページでもご覧いただけます。





## 5 議員が質問

### ■石井 悠子 (8ページ)

- (1) 新型コロナウイルス感染症に対する政策について
- (2) 町民同士の絆を維持する取組について
- (3) 中心市街地の再生について
- (4) 国際教育研究拠点の誘致について
- (5) ICT教育の取組について
- (6) 文化財の保存や展示について
- (7) 棚塩地区における「酪農復興牧場」計画について
- (8) 町政懇談会について

### ■紺野 則夫 (9ページ)

- (1) 医療費無料化の継続について
- (2) 安心安全の医療体制の構築について

### ■紺野 榮重 (10ページ)

- (1) 新型コロナウイルスの件
- (2) 道の駅なみえの件
- (3) 道路の進捗状況と完成予定の件
- (4) 農業の件

### ■渡邊 泰彦 (11ページ)

- (1) 有害鳥獣対策について
- (2) 交流・情報発信拠点施設について
- (3) 浪江町仮設商業施設の今後について
- (4) 浪江駅周辺の事業計画について

### ■馬場 績 (12ページ)

- (1) 新型コロナ感染と町民のいのち・暮らしを守る町の対応について
- (2) 帰還困難区域の復興拠点区域外の整備について
- (3) 原発汚染水処理問題について
- (4) 日本海溝・千島海溝の巨大地震・津波予測と防災・安全対策について

このページには、質問した議員の質問事項が掲載されています。議会だよりに掲載する一般質問の内容は、紙面の構成上、1議員の質問・答弁を合わせて1000文字程度に要約しておりますので、ご了承ください。

# 町政と問

一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたって執行機関に疑問点をただし、所信の表明を求め、政治的姿勢を明らかにするものです。そのことにより、現行政策の変更、是正あるいは新規政策の採用などの効果があります。



● 石井 悠子 議員 ●



Q

歴史・伝統などを物語るような学校の沿革に関する資料など、今後の取り扱いは

A

しっかりと保存していけるよう、地域資料等収蔵施設調査検討業務において、望ましい保存環境について調査・検討したいと考えています

教育次長

原発事故後の全町

**質問** 家屋などに残されている古文書、道具類、絵画等の保護・保全活動について、現在の取組を伺います。

文化財の保存や展示は

**教育次長** お預かりしている寄託品などについて、劣悪な環境で保存することは望ましくないので、まずは、しっかりと保存するべきものをどこに保存するか、調査していきます。具体的に資料館を建てるのかというような話もありましたが、あくまでも現在検討中で、そういう結果が出るのかどうかは、調査によって決まってくるのかと感じています。

**質問** 請戸小学校以外の町立小学校の解体が決まりました。浪江小学校を解体せずに、展示資料館とするのはどうかなどの声が上がっていました。解体するのであれば、他に展示場や資料館などを建てる計画があるのか伺います。

避難指示以降、津波被災地域からの回収、各地区集会所等に残された行政区の文書資料、そして地区ごとの民族芸能用具等の持ち出し、寄託を受けての保管等を実施してきたところで、現在も継続して取組んでおり、

住民、行政区、そして保存会等から受ける様々な相談内容について、ケースごとに対応しています。直近の実績では、蔵書等の図書資料や民具、そして石器等の寄贈についての状態や重複等、

内容を確認した上で受入れを行っているところです。

**質問** 「失われた街」模型復元プロジェクトにて、500分の1の縮尺した建築用模型で震災前の町（請戸、権現堂、大堀地区）を再現したものです。このような作品を浪江町に展示すべきと思いますが、町の考えを伺います。

総務課長

請戸、権現堂、大堀地区の模型については、現在のところ、町の施設として、常時展示できる十分な広さの施設がなく、対応が困難であると考えています。

しかしながら、震災前の町の姿を残す一つの資料であると考えますので、今後町として、展示や利用など、有効活用を検討していきたいと考えています。



役場周辺を模型で再現

(模型のサイズ：請戸地区 2m×4m、権現堂地区 4m×2m、大堀地区 3m×3m)





● 紺野 則夫 議員 ●

Q 医療費の無料化について町はどのように捉えているのか

A 命のパスポートとして認識しています

医療費の無料化継続について

**質問** 医療費の無料化は明日への命を繋ぎ、生きるための担保と考えていますが、町長は医療費無料化をどのように捉えているのか伺います。

**町長** 避難生活も10年目となる中、医療費無料化の継続は必要不可欠なものであり、生命をつなぎ生きるための「命のパスポート」として認識しています。

**質問** 町は、平成24年6月7日、避難町民の医療費に対する経済的不安の解消を求め、恒久的医療費無料化、原爆被爆者手帳と同等の法整備を求めた要望書を国に対し提出した経過がありますが、その後の医療費無料化について町は国に対し、要望をどのような形で行ってきたのか伺います。

**町長** 長期化する避難生活の状況を踏まえ、原子力災害対策本部長・復興大臣あてに継続を求めて要望を重ねてきました。

**質問** 無料化が途絶えてしまった場合、医療費が負担となり、医療機関が遠のいてしまい死者数は増加の一途をたどるのではないかと危惧するところですか。

**町長** 国は、原発事故の加害者として被害者である浪江町民に対し、恒久的に医療費の無料化を継続することが責務であると考えますが、今後、町として、具体的にどのような方法で国に対し医療費無料化の継続を求めていくのか伺います。

**町長** 国は「具体的にどのように見直すかは各自自治体の意見を丁寧にかがう」としています。意見聴取の機会には、町民の現状踏まえ、安心して生活ができるよう財政支援の継続を求めています。

安心安全の医療体制の構築について

**質問** 今町内にある医療機関は浪江診療所のみであり、町民ばかりでなく、町外からの移住者、町内で働く人たちの生命

を守るための唯一の医療機関であり、その果たす役割は非常に大きなものとなっています。しかしながら、外来診療のみであり、安心安全な施設とは言えないものであることは否めない事実です。そこで町の将来を見据え、新たに入院患者を受け入れることを目指した二次医療施設を整備する考えがあるのか伺います。

**浪江診療所事務長** 医師や医療従事者不足の中での整備は、大変困難であると考えています。

**質問** 今ある診療所であっても入院病床を置くことができるとなっていることは周知しているものとして、今の診療所を入院可能な施設に拡大する考えがあるのか伺います。

**健康保険課長** 浪江診療所の有床化等の機能拡大は経営悪化などリスクが大きく、近隣の医療機関と連携し、医療資源を有効に活用したいと考えています。今後は、往診等の対応を図りながら住民の不安解消に努めていきます。

**質問** 将来に向けた医療体制はどうあるべきか模索する必要があると考えます。町は、今後どのように医療体制強化を図っていくのかお答えください。

**町長** 高齢者等への往診、未就学児の予防接種・健康診断等を開始することから始めます。さらに、診療時間延長・調剤薬局の誘致など医療体制の充実を図り、町民の不安解消に努めていきます。

● 紺野 榮重 議員 ●



**Q** 道の駅建設の目的と波及効果は

**A** 地域振興の拠点、公的交流の場、そして浪江町の復興を内外に発信します



地域振興が期待される道の駅なみえ

**質問** 道の駅の人員体制を伺います。

**産業振興課長** 全体で職員11人、パート従業員38人の49人で運営します。

**質問** 将来にわたって運営経費負担が出てくるのか伺います。

**産業振興課長** 今年度は3750万円計上させていただきます。来年度以降も負担が生じるようになります。

**質問** 7月に一部オープン予定でしたが、予定どおりオープンできるのか伺います。

**産業振興課長** 現在のところは8月1日にオープンすることで、準備を進めています。

**質問** 建設の主な経費、用地買収費、造成費、建設費、外構工事費は概算でいくらか伺います。

**産業振興課長** 概算の事業費

で、用地費10億円、造成費9億円、実設計及び建築費19億円、調査設計費2億円、設備費5億円、計45億円です。

**質問** 目標とする売り上げや集客数、人件費などの経費をいくらと試算しているか伺います。

**産業振興課長** 目標は年間49万人の来場者、売上目標4億円、人件費は年間1億5000万円です。

新型コロナウイルスから町民を守るには

**質問** 新型コロナウイルスに対して、啓蒙、注意喚起をどのようにされているか伺います。

**健康保険課長** 感染症に対する正しい知識を持っていただくよう、町のホームページ、広報なみえでお知らせしています。町内では防災無線で注意喚起しています。

道路の進捗状況と完成予定を問う

**質問** 国道114号の拡幅、道路改良の状況を伺います。

**まちづくり整備課長** 赤宇木地区柵平工区及び津島地区水境工区の直線部分に着手、令和7年度の事業完了を目標にしています。

**質問** 浪江町分の県道広野小高線(浜街道)の完成時期を伺います。

**まちづくり整備課長** 現在埋蔵文化財の発掘作業中です。発掘調査終了後工事を実施します。

**質問** 町内でPCR検査を受けた人数を町は把握しているか伺います。

**健康保険課長** 現在まで5人の方が検査受けられましたが、すべて陰性でした。

**質問** 浪江町の現場で陽性の方がおりましたが、カウントになりませんでしたか、カウントの基準を伺います。

**健康保険課長** 感染症陽性者のカウントは、居住地を原則としています。作業現場は浪江町でしたが、居住地は浪江町でないため、浪江町のカウントとはなりません。

**質問** 町道小宮田線が国道6号より柵塩産産団地まで通行可能となるのはいつか伺います。

**まちづくり整備課長** 本年7月末までとなっています。完成後検査を行い全線開通させます。

**質問** 請戸漁港小高瀬廻線が国道6号まで通行可能となるのはいつか伺います。

**まちづくり整備課長** 県道長塚請戸浪江線の交差点の区間が未発注です。本年度の工事発注を予定しています。令和3年度末までの完成を目指しています。





● 渡邊 泰彦 議員 ●

Q 『まち・なみ・まるしえ』の今後の利用方針は

A チャレンジショップの場として、提供する予定です

浪江町仮設商業施設の再利用は

質問 『まち・なみ・まるしえ』

がオープンして、今年度の10月で4年が経過します。

町内での事業再開、スーパーの進出、道の駅なみえのオープンなど、町民の買い物の利便性は確保され『まち・なみ・まるしえ』の役目は一定程度達成されました。今後の施設の活用についてお尋ねします。

産業振興課長 『まち・なみ・まるしえ』の当初の目的は、一

応達成できた部分があります。今後は、目的を町民の生活支

援の場から、帰町した町民の事業再開の支援、移住・定住され新たに事業を始めた方のチャレンジショップとしての支援の場として提供を考えています。ス

中心市街地再生計画は

質問 令和2年4月1日付

けで、『一団地の復興再生拠点市街地形成施設整備事業』の交付金の内示を受けました。具体的な事業計画の策定方法をお尋ねします。

まちづくり整備課長 企画財

政課で政策調整会議まちづくり分科会を組織して、①居住機能、②商業機能、③就業機能、④駅前広場駐車場等の機能、大きく4つのゾーニングが必要である



『まち・なみ・まるしえ』は新たなステージを迎える

どの方向性が示されています。内容を精査して、具体的な導入機能、配置計画と導入効果、周辺施設との連携などを視野に入

アライグマ対策は

質問 町内各地域でアライグマの被害が報告されています。

アライグマの危険性は致死率100%の狂犬病、脳神経障害を起こす回虫、マダニによる感染症など、国内での死者も出ています。町の対策をお尋ねします。

農林水産課長 アライグマの

対策としては、町民から要請のあった箇所に『小型オリ』を設置して捕獲を進めていきます。現在は18基を設置しています

が、今年度は小型獣の捕獲頭数を増やすために、『小型オリ』の追加購入を検討します。アライグマの捕獲頭数は、平成29年度192頭、平成30年度104頭、令和元年度98頭でした。

● 馬場 績 議員 ●



**Q** 町長は政府に汚染水の「海洋放出に反対」を  
求めるか

**A** 適切な方針が示されるよう国に求めてゆきます



復興への期待が大きい、再開した請戸漁港のセリ

**質問** 海洋放出は町の存続にかかわる重大な問題です。町議会は「トリチウムを含む処理水の海洋放出に反対する決議」を全会一致で可決しました。町長は決議を尊重し「海洋放出に反対である」ことを政府に求めるか、お答えください。

**町長** 町も同様な危機感を

持っており、国は地元町村や関係機関と十分な議論を行い、適切な方針が示されるよう求めてゆきたいと考えています。

**質問** 議会は明確に反対の決議をしました。海洋放出に明確な態度表明をすべきではないですか。

**町長** 農林水産業に対する風評被害や帰還の阻害要因となることに対し、国は適切な方針を示すべきだということを申し上げてゆきます。

復興拠点「区域外」の「除染なし避難解除」は認められません

**質問** 新聞報道によれば「除染なし避難解除」について経産省、環境省、復興庁で合意されているということですが。町長は国の方針転換をどう受け止めていますか。

**企画財政課長** 報道について国に確認したところ、現時点で政府内で最終調整に入っている事実はないということです。復興大臣などに拠点区域外の除染や避難解除方針を早急に検討し今後の施策の方向性を示すよう要望してゆきます。

**質問** 「除染なし解除」の方針の撤回を求めること、そして帰還困難区域の再生・整備をどうするのか、町は具体的な計画を作る必要がありますか。

**町長** 除染なき解除はあり得ないということを、明確に打ち出してゆきたいと思えます。

コロナ感染  
双葉医療センターに  
PCR検査設備を

**質問** 浪江町の除染作業に参加する事業所は31、その作業員は2800人、再開事業所と合わせれば約5000人が働いていると推計されます。双葉8か町村ではその何倍にもなるでしょう。いわき、南相馬市に多くが居住し、首都圏との交流や移動もあるでしょう。

夏から秋にかけて第2波、第3波が心配されています。地域住民の安全・安心のためにも双葉医療センターでPCR検査ができるように県と協議すべきだと思います。

**健康保険課長** 相双管内において新たにPCR検査機器を整備する方向で県が調整中です。設置場所は検討中という事です。

## ● 総務常任委員会 ●



委員長 山本幸一郎  
副委員長 半谷 正夫  
委員 紺野 則夫  
松田 孝司  
佐々木恵寿

総務課、企画財政課、住民課、生活支援課、津島支所、出納室が所管する案件を審議しています。

### ■ 企画財政課 ■ 移住・定住の促進

**問** 本年4月より、移住・定住政策を促進する係が新設されたが、どのような活動をしているのか。

**答** 移住・定住を促進するためのパンフレットの作成に取り掛かっています。さらには、町ホームページに専用コーナーを設ける準備をしており、これらを通して浪江町の移住・定住情報を発信していきます。他の自治体には無いような浪江特有の施策も展開していきたいと考えています。

### ■ 生活支援課 ■ 二本松事務所

**問** 今後の二本松事務所のあり方についての考えは。

**答** いまだに数多くの証明書等の発行業務を行っており、住民サービスの面から考えて、まだまだ必要な施設であると認識しています。

### ■ 総務課 ■ 消防ポンプ自動車購入

**問** 今年度、消防ポンプ自動車を購入するが、普通自動車運転免許で運転が可能か。

**答** 平成29年3月から道路交通法が改正となり、それ以降に取得した普通自動車運転免許では運転ができません。配備する分団にしっかりと周知いたします。



導入予定の消防ポンプ自動車

### ■ 住民課 ■ マイナンバーカード

**問** 特別定額給付金の申請への活用もあり、マイナンバーカードの発行件数は増えているのか。また、発行後の注意点は何か。

**答** 3月末時点で約2750件の発行でしたが、5月末時点では約3000件の発行となっています。一度発行されると、署名用電子証明書等ICチップを搭載される場合は、5年ごと更新が必要となり、紛失等による再発行には1000円の再発行手数料がかかります。

### ■ 住民課 ■ ゴミステーション

**問** 実際に町内に住んでいる住民の意向を聴くなどして、ゴミステーションの数を集約すべきではないか。

**答** 権現堂地区などはいわゆる青空ゴミステーションは集約する方向で調整を進めています。各地区の状況に応じて、行政区長などにご相談しながら対応していきます。



## ● 産業・建設常任委員会 ●

産業振興課、農林水産課、住宅水道課、まちづくり整備課、農業委員会が所管する案件を審議しています。

委員長 平本 佳司  
副委員長 高野 武  
委員 佐々木勇治  
山崎 博文  
佐藤 文子



### ■住宅水道課■ 帰還困難区域の井戸

**問** 生活用水確保のため、帰還困難区域の井戸掘削は避難指示解除にならないと申請できないのか。

**答** 復興拠点区域内では可能ですので、国と協議し、町が認めたものについては、実施していきます。

### ■住宅水道課■ 生活用水

**問** 将来の人口増が見通せない中、取水場は維持できるのか。

**答** 取水場は、現在、小野田・荻野・谷津田・大堀の4か所あります。将来的には、小野田・荻野の2か所に集約したいと考えています。

### ■農林水産課■ ため池除染

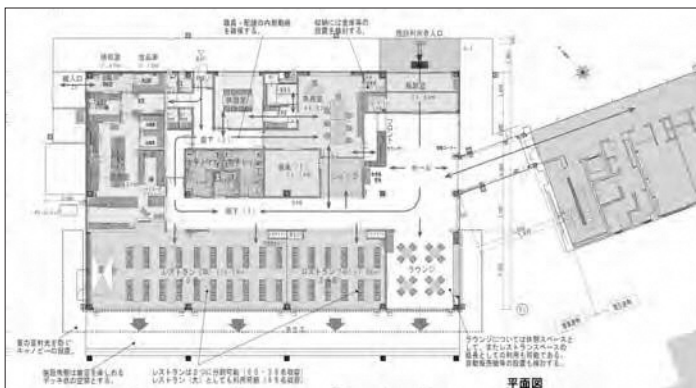
**問** 工事が完了したため池が台風等で線量が上がった場合、再度除染してもらえないのか。

**答** 工事完了後の再除染について、国からは個別の案件ごとに協議したいとの回答を得ています。

### ■産業振興課■ いこいの村

**問** 管理棟が年度内に完成予定だが、食事の提供はいつ頃から始めるのか。

**答** 備品・設備の搬入及び従業員の研修等必要であり、来年の5～6月頃を見込んでいます。



いこいの村なみえ管理棟平面図

### ■まちづくり整備課■ 環境整備

**問** 町内道路の除草作業を地元行政区に発注できないのか。

**答** 500万円以上の工事には建設業法の資格が必要であり、分割発注すると、業務量が膨大となるため、現在のところは予定していません。

### ■まちづくり整備課■ 道路整備

**問** 大型車両の通行で道路の傷みが激しいが、対策は。

**答** 随時見回りし、補修を行っています。破損箇所気づいたら、連絡をいただきたいと思っています。

### ■農林水産課■ 復興牧場

**問** 進捗状況と最終的な可否決定の判断時期は。

**答** 町及び関係する行政区で書面によるアンケート調査を実施しました。相手もあることですので、地元には丁寧な説明をしながら、年度内にはなんらかの結論がほしいと考えています。

## ● 文教・厚生常任委員会 ●



委員長 渡邊 泰彦  
副委員長 石井 悠子  
委員 大浦 泰夫  
泉田 重章  
紺野 榮重  
馬場 績

教育委員会、健康保険課、介護福祉課、浪江診療所、仮設津島診療所が所管する案件を審議しています。

### ■ 浪江診療所 ■ 新型コロナウイルス対策

**問** 仮設待合室を作る目的と発熱患者さんに対する対応は。

**答** 発熱等の症状がある患者さんについては、出入口を分けることで、他の患者さんとの接触を避け、感染防止を図ることが第一の目的です。

受診の  
場合の  
流れ  
浪江  
診療所  
感染の  
疑い  
のある

- ①電話等で受診の予約
  - ②来所の際に、インターフォン・携帯電話等で到着の連絡
  - ③仮設待合室で待機（問診票記入、体温測定）
  - ④救急出入口インターフォン（携帯電話）で問診票等記載の連絡
  - ⑤臨時診察室で受診
  - ⑥会計
- ※PCR検査が必要な場合は、検査機関への案内が来るまで臨時診察室で待機  
※診察時、医師、看護師等はサージカルマスク、ガウン等標準防護対策を徹底

### ■ 介護福祉課 ■ 町内の介護予防の取組み

**問** 介護認定を受けていない人や介護サービスの利用を受けていない人に対し、どう対応しているのか。

**答** サポートセンター、介護予防事業を実施しています。また、サロン等各種事業を行っていますので、積極的に参加していただきたいと思っています。



介護予防体操で楽しく交流  
(幾世橋住宅団地集会所)

### ■ 教育委員会 ■ 埋蔵文化財試掘調査

**問** 歴史的な発掘物はあったか。

**答** 幾世橋小学校（植畑遺跡）では、縄文土器や竪穴住居跡19件などが確認されました。

### ■ 教育委員会 ■ 学校解体

**問** 解体予定はいつなのか。解体順番は。

**答** 夏ごろに環境省より解体工事の発注があるのではないかと予想していますが、時期や順番は現時点で明確ではありません。

### ■ 仮設津島診療所 ■ 新型コロナウイルス対策

**問** 発熱患者さんについて、浪江診療所では待合室を作りますが、仮設津島診療所ではどのように対応するのか。

**答** 常設している発熱外来室で対応・対策します。

## ● 文教・厚生常任委員会視察研修報告 ●

### 視察者

委員 長 渡邊 泰彦  
 副委員 長 石井 悠子  
 委員 大浦 泰夫  
 泉田 重章  
 紺野 榮重  
 馬場 績

### 目的

所管施設の視察・研修を行い、町民の生活支援と町の復旧・復興に活かすことを目的とする。

### 視察日

令和2年1月23日(木)

### 視察先及び視察内容

#### ● なみえ創成小学校・中学校 ●

児童・生徒たちは、地域の人々との交流や演劇コミュニケーション、味噌作り体験など、この学校でしか学べない特別な体験ができています。

このような情報を何かの手段で発信することで、生徒増加につながる可能性もあると感じた。



#### ● 浪江にじいろこども園 ●

少人数保育のため、将来の集団行動にも対応できるような保育を心がけている。今後、町の居住者や園の利用者が増えることが予想されるため、就労先の確保等、家族で生活できる環境作りも検討していかなくてはならない。



#### ● 特別養護老人ホーム オンフル双葉 ●

職員不足でフルオープンができず、待機者があり、この課題についても今後、支援が必要であると感じた。

特別養護老人ホームとしての機能だけでなく、総合的な面でも町でサポートできる部分があると感じた。

#### ● 浪江小学校・幾世橋小学校 ●

現在保存されている文書等を今後どのようにするか検討する必要があると感じた。また、解体を視野に入れた場合、跡地利用については、公的機関や民間利用を含めて、幅広い計画を考える必要があると感じた。

#### ● 浪江診療所 ●

町民の安心した暮らしに繋がる診療を継続するために、常勤医師の確保、診療科目の充実等、町民が安心できるような町の診療体制について検討していく。





写真左より  
山崎 博文 議員   紺野 榮重 議員   山本幸一郎 議員

## 紺野 榮重 議員 山本幸一郎 議員 山崎 博文 議員に 福島県町村議会 議長会表彰

福島県町村議会議長会表彰を受けられましたので、6月定例会において、議長から表彰状の伝達を行いました。

- 紺野 榮重 議員  
任期満了時に在職期間が20年以上
- 山本 幸一郎 議員
- 山崎 博文 議員  
在職期間が11年以上

## 議会活動の経過報告 4月11日～7月10日

(定例会及び臨時会中の全員協議会・各委員会を除く)

### 4月

- 23日
- ・議会改革特別委員会
  - ・議会運営委員会

### 5月

- 12日
- ・議会改革特別委員会
- 13日
- ・双葉地方広域市町村圏組合議会保健衛生常任委員会 (富岡町)
- 14日
- ・双葉地方広域市町村圏組合議会消防厚生常任委員会 (富岡町)
- 15日
- ・双葉地方広域市町村圏組合議会総務常任委員会 (富岡町)
- 22日
- ・議会改革特別委員会
- 29日
- ・双葉地方広域市町村圏組合議会定例会 (富岡町)

### 6月

- 2日
- ・議会運営委員会

- 2日
- ・議会改革特別委員会
- 9日
- ・6月定例会 (～18日) ※1
  - ・議会報編集特別委員会
- 18日
- ・国道114号整備促進特別委員会
- 22日
- ・議会改革特別委員会
  - ・議会運営委員会
- 26日
- ・第2回臨時会 ※1
  - ・全員協議会
  - ・産業・建設常任委員会
- 29日
- ・双葉地方町村会・町村議会議長会合同要望活動 (～30日 復興庁ほか)

### 7月

- 2日
- ・議会報編集特別委員会
  - ・議会運営委員会
- 8日
- ・議会報編集特別委員会
- 9日
- ・全員協議会
  - ・産業・建設常任委員会
- 10日
- ・議会報編集特別委員会

※1 本会議の出欠状況は、町ホームページ（浪江町議会→会議結果一覧）をご覧ください。



## みなさまの声をお聞かせください。

議会報編集特別委員会では、町民の皆さまの声を「議会だより」に掲載しています。議会に対する意見、要望、感想等、何でも結構ですので、声をお寄せください（議会事務局まで）。

なお、陳情・請願をされる場合は、「浪江町ホームページ⇒浪江町議会⇒請願・陳情の仕方」にその方法を掲載していますので、これを参考にしてください。

# 町民の声



林 優子さん  
(立野)

## いつでも帰れる 故郷 浪江を

早いもので、東日本大震災から9年。当時小学2年だった息子も今では、高校3年生になりお陰様で毎日楽しく過ごしております。

先日息子が、「浪江はカエルの鳴き声いっぱい聞こえたよね。なんかあの音良かったよね」と突然言い出しまして驚きと半面ホッと安心しました。今息子は17歳。浪江での生活よりも今の場所での生活の方が長くなっています。ですから、そういう記憶はもうないのかと思っていました。

震災後1年経過した時に浪江に戻りたいか聞いたことがありましたが、「震災前の状況に戻っているのなら戻って小学校の友達と遊びたい。でもそれはありえないから」と聞いた時には私は言葉に詰まりました。(今居るべき所で息子はもう進んでいるんだと...) 今となつては、浪江の町並みは家屋等の解体が進み、だいぶ変わってしまったが、これから先大人になつても息子の心の中には、浪江での記憶を忘れないでいて欲しいと思います。今は戻ることが出来ませんが、「いつでも帰れる故郷 浪江」であつて欲しいと思います。

私は、浪江まで国道114号を使って行くことがあるのですが工事車両等が多く通行していません。所々すれ違ふのに狭いうえ、津島を抜けるところは木々が生い茂り見通しが大変悪く危険な箇所が多いように感じます。また、猿など野生動物も多く草の中から突然出てくることあり、ヒヤリとする時もあります。浪江の町民の方々も多く利用されると思いますので、安全のためにも草刈りや木々の伐採などの整備を町の方からも関係機関へ働きかけていただきたいと思っています。

最後になりますが、震災又新型コロナウイルスの拡大による影響等、私達の不安材料は消えることがありません。町議会議員の皆様には今後とも町民のためにご尽力お願いいたします。

### 「町民の声」に掲載する 原稿を募集しています。

議会に対するご意見、要望、感想等をお寄せいただける方は、浪江町議会事務局(☎0240-34-0254)または、議会報編集特別委員にご連絡ください。

## 編集後記

東日本大震災及び原発事故から9年が過ぎました。皆様のふるさと浪江町では、今着実に復興に向けて一步一步進んでおりますが、町民の皆様におかれましては、大震災と原発事故、さらには新型コロナウイルスの感染拡大防止に伴う自粛生活でさまざまな苦労や不安、不自由など何かと負担の多い日々を過ごしていることと思います。

「苦あれば楽あり」ということわざがあります。苦楽相伴うものであり、苦労の後には必ず楽しいことがあるはずです。この事を胸に町民共々議員一同頑張っていきたいと思っております。(大浦)

### 発行責任者

議長 佐々木 恵 寿

### 議会報編集特別委員会

委員長 松田 孝 司

副委員長 大浦 泰 司

委員 石井 悠 司

委員 高野 正 佳

委員 石谷 武 夫

委員 高平 本 司

